

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

#### 【研究課題名】

小児発熱患者を対象としたインフルエンザウイルスワクチンの有効性の比較試験

#### 【目的】

インフルエンザワクチンはインフルエンザ予防の基本ですが、その予防効果は一定ではありません。この研究は、ワクチン接種の有無と罹患状況を比較することで、インフルエンザワクチンの有効性を検証することを目的として行います。

#### 【対象】

2013年11月20日～2023年9月までの間に、当院小児科へインフルエンザ診断・治療のために受診し、インフルエンザの迅速抗原検査を受けた0歳～15歳の患者さん

#### 【方法】

診療記録より当院研究担当医師がデータを調査票へ入力し、電子メールにて送付します。送付された情報は研究代表者の所属する慶應義塾大学医学部小児科学教室で管理・保管され解析を行い、学会発表や論文として公表されます。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

#### 【利用する試料・情報】

診療記録（性別、年齢、基礎疾患、痙攣の既往、ワクチン接種回数、集団生活状況、症状の経過、異常行動の有無、発熱から受診までの時間、臨床検査結果、治療薬、入院の有無、ワクチン接種後罹患までの期間、インフルエンザ罹患の既往歴、前年度のワクチン接種歴 等）

#### 【研究期間】

2013年11月20日から2024年3月31日まで

#### 【研究組織】

研究代表者：慶應義塾大学医学部小児科学教室 新庄 正宜

#### 【研究実施機関】

慶應義塾大学医学部小児科学教室、慶應義塾大学医学部感染症学教室、けいゆう病院小児科、横浜市衛生研究所太田記念病院小児科、国立病院機構栃木医療センター感染アレルギー科、済生会宇都宮病院小児科、足利赤十字病院小児科、佐野厚生病院小児科、さいたま市立病院小児科、国立病院機構埼玉病院小児科、東京歯科大学市川総合病院小児科、永寿総合病院小児科、東京都済生会中央病院附属乳児園、東京都済生会中央病院小児科、国立成育医療研究センター感染症科、東京都立大塚病院小児科、立川共済病院小児科、国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター、日野市立病院小児科、横浜労災病院小児科、川崎市立川崎病院小児科、日本鋼管病院・こうかんクリニック小児科、平塚市民病院小児科、静岡市立清水病院小児科、静岡赤十字病院小児科、国立病院機構東京医療センター小児科

#### 【当院の研究責任者】

小児科 山下 行雄

#### 【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56  
電話 045-331-1961（病院代表） 小児科 山下 行雄

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。